

# ART COEFFICIENT

芸術係数では、1960年代以降に書かれ、まだ日本語訳が出版されていない美術に関する論考を中心に取り上げる読書会を通じ、戦後のアートを巡るグローバルな言説風景を描く取り組みを続けています。

この特別講義では、読書会を補完するため、現在日本国内で注目すべき活動を行っている人々を講師に招き、日本のアートが描くべき未来の言説風景を探って行きたいと思えます。

初回講師の梅沢和木氏は今年に入って「10年代の終戦」展、「ラッセン」展、そして「受け入れ」展などこちらも注目すべき若手キュレーターの企画する展覧会に相次いで選ばれ、また東浩紀氏(ゲンロン)を中心としたアート・プロジェクト「福島第一原発観光地化計画」でも重要な役割を担い、ファッション・ブランドの展示会「ヴィジュアル」も担当しました。アニメやゲーム、ネット文化に根ざした梅沢氏の表現と上述の多様な活動範囲は、日本の閉塞的で歪んだアートの風景に新しいパースペクティブを開くものであることは疑いようがありません。

今回の講義では「○と□の画像コア(絵画論)」と題し、梅沢氏のこれまでの作品とそれを受ける方法論、さらには氏が選ぶ同時代の画像的な絵画を紹介しながら、独自の絵画論を「○と□」をキーワードに語ります。

**梅沢 和木(うめざわ・かずき)**  
1985年生まれ。美術家。武蔵野美術大学映像学科卒業。ネット上の画像を集め再構築し、アナログとデジタル、現実と虚構の境目を探る作品を制作し、発表している。2010年に「カオス・ラウンジ2010 in 高橋コレクション日比谷」や「破壊・ラウンジ」などの展覧会に参加。2012年に企画「大地と水と無主物コア」を開催。CASHおよびカオス・ラウンジに所属。

**辻憲行(つじ・のりゆき)**  
1970年生まれ。キュレーター/翻訳。山口大学大学院人文科学研究科美術学専攻修了。1998年から2006年まで秋吉台国際芸術村(山口県)にてチーフ・キュレーターとしてレジデンス、展覧会、WS、セミナーなどの企画・運営を行う。2008年から2010年まで東京都写真美術館学芸員。主な企画展(共同企画も含む)は、「フギ・ウキ・ワンダーランド」(2003)、「チャンネル0」(2004)、「トランスフォーマー」(2005)、第1回/第2回恵比寿映像祭。芸術係数主宰。

## 芸術係数特別講義

梅沢和木「○と□の画像コア(絵画論)」

2012|12|29 18:00-

17:30 開場 18:00 開演 20:00 終了予定

講師: 梅沢和木

進行: 辻憲行

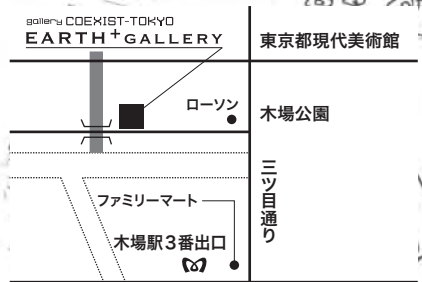
参加費: 1,800円(ワンドリンク付き)

終了後講師を交え懇親会を予定しています。お気軽にご参加ください(参加費500円)

詳細: <http://gjks.org/?p=2391>

会場: EARTH+ GALLERY(アースプラスギャラリー)

<http://coexist-tokyo.com/information/#3>



\*東西線木場駅3番出口から約7分

芸術係数

<http://gjks.org>

[info@gjks.org](mailto:info@gjks.org)

FB: Artcoefficient

Twitter: gjks\_org

YouTube: artcoefficient

EARTH+GALLERY

〒135-0042 東京都江東区木場3-18-17 1F

tel/fax 03-5809-9949

mail: [info@coexist-tokyo.com](mailto:info@coexist-tokyo.com) / URL: [coexist-tokyo.com](http://coexist-tokyo.com)